



金沢犀川ワイズメンズクラブ 2014年3月第一例会のご案内

お気軽にご参加ください

日時：2014年3月13日(木) 19:00～21:00

場所：金沢白鳥路ホテル(金沢市丸の内6-3 TEL 076-222-1212) <http://www.hakuchoro.com/>

会費：3,000円(夕食代を含む)

卓話：特別名勝“兼六園”はこんなにおもしろい～大名庭園の庭づくりが教えるもの～
森永 壽久 氏(石川県夕日寺健民自然園 園長)

卓話概要：特別名勝“兼六園”は「歴史的遺産を活用した公園」として公開されてから140年。公園というより、今や石川県最大の有料観光施設(物見遊山地)です。県の都市施設のひとつなのに県民・住民の入園割合は3割にも満たないのです。北陸新幹線開業を控えこれまでも、これからもこの庭を観光「百万石金沢」のシンボルとして誇りとし、自慢の庭であるのですが、地元の私たちがこの庭を本当に見ているでしょうか。この庭はどんな庭で、どのように造られてきたのかをよく理解し、そしてこの庭が現代に生きる私たちに教えてくれている大切なことを、ここでちょっと一緒に考えてみませんか。

講師プロフィール：もりなが・としひさ。1950年1月、白山市(旧・松任市)生まれ。1973年3月東京農業大学農学部造園学科(現・地域環境科学部造園科学科)卒業。江山正美・進士五十八に師事し、専門は造園計画原論、庭園学。1974年4月石川県庁入庁、経済部観光課(当時)技術吏員として奉職したのを皮切りに、自然公園計画・整備や都市公園計画・設計、管理・整備、また都市計画(地域計画)と幅広くほぼ庁内の造園技術職域を経験し、金沢城・兼六園管理事務所で2004年4月～2007年3月まで所長を務める。この間、1979年4月「辰巳用水再生事業」で都市美文化賞を共同受賞、1984年4月「新県立美術館周辺整備工事(滝工事)」で2度目の「都市美文化賞」と「石川県建設技術賞」を受賞。2010年3月石川県を退職、同年4月から石川県夕日寺健民自然園の園長(囑託)に就任。現在、県の「里山シンボル拠点施設」の管理運営と里山利活用のお手伝いの傍ら、旅行業界団体や全国各地からの高校修学旅行など県観光推進課からの要請、地元各種団体の要望に「石川県観光スペシャルガイド(金沢城・兼六園解説)」として、兼六園の「造園から見た魅力と見方・考え方」を中心に案内・出張講話に応じている。

参加申込・問い合わせ先

*お申し込みは3月10日(月)までに。

会長：澤瀬 TEL/FAX 076-276-7822

書記・準備当番：北 TEL/FAX 076-245-2386

上記個人のアドレスをご存知の方は、Eメールで申し込むこともできます。または、ホームページ管理者(平口哲夫)のアドレス

(koshomachirukaと@とyahoo.co.jpとの組合せ)をご利用ください。

みちしるべ

